

第2号 2008年 春爛漫

●Nakanoshima Clinic 中之島クリニック



通信

編集 中之島クリニック 編集部まもなひ
〒553-0003 大阪市福島区二丁目1番2号
TEL:06-6451-6100
FAX:06-6451-1234
中之島クリニック 田邊卓爾
URL:<http://nakanoshima-clinic.jp>

皆様こんにちは。中之島クリニックの田邊卓爾と申します。循環器が専門です。
昨年7月に中之島クリニックがオープンし、9ヶ月が経過しました。予防医学および画像診断を2本の柱として運営してきましたが、周辺の医療機関の皆様にはお世話になり、大変ありがたく存じます。振り返ってみますと、オープン当初はいろいろな事務的なミスや不慣れな接客などでゲストの方には多大なるご迷惑をおかけしたと思いますが、最近になりやっと形は出来てきた様な気がします。
少々気が早いかもしれませんが、中之島クリニックが今後目指していくところを少し考えてみました。これまでの高度画像診断および人間ドックによる予防医学を通じて大阪市民の皆様の健康に貢献するという事はもちろんなのですが、もう一步踏み込んで「元気になれる中之島クリニック」というところまで持っていければ、と考えています。つまり、画像診断あるいは人間ドックを受けに来られたゲストがお帰りになる際には「ゆったり出来て、来る前よりも元気になった。また来たい。」と思っていただけるようなクリニックを目指そうと思えます。そのためには技術、サービスなどいろいろな面においてさらなるブラッシュアップが必要なると思えますが、職員が一丸となって取組んでいこうと思っています。医療機関の皆様からも、いろいろなご意見を賜りたいと思っておりますので、4月26日に当クリニックで開催予定の講演会に是非お越しください。

と き 4月26日(土)午後3時~4時半

演 題 「PET 検査について」

ところ 中之島クリニック 3階フロア

(終了後、5階カフェテリアにて懇話会があります)

講 師 岩田 政広(中之島クリニック放射線科部長)

参加費 無料(会場の関係から先着50名様とさせていただきます)

* 駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせは中之島クリニック(☎06-6451-6100、または06-7507-1130)までお願いいたします



「FDG-PET/CT 検査の適応に関して—実は厳しい適応条件—」

中之島クリニック 放射線科部長 岩田 政広

もはや癌診療にかかせない存在となった感のある腫瘍 FDG-PET/CT 検査ではありますが、現在、我が国では脳腫瘍をいれて下記の 13 の癌腫にのみ保険適応が認められており、すべての癌腫に認められていません。また、13 の癌に関しても、存在診断、病期診断、転移・再発診断と大きく 3 つに分類して、すべてが認められていないものもあり、これらほとんどに、他の検査、画像診断により診断が確定出来ない患者に限るといふかなり厳しい条件の枕詞がついています。現在、学会レベルでアメリカなどと同様にすべての癌腫に保険適応が認められるべく活動中ですが、昨今の医療情勢を考えると、少し先の話かも知れません。

	存在診断	病期診断	転移・再発診断
肺がん			
乳癌			
大腸癌			
頭頸部癌			
膵癌			
悪性リンパ腫	×		
悪性黒色腫	×		
脳腫瘍	×	×	
原発不明癌		×	×
転移性肝癌		(原発巣の診断)	×
食道癌	×		
子宮癌	×		
卵巣癌	×		

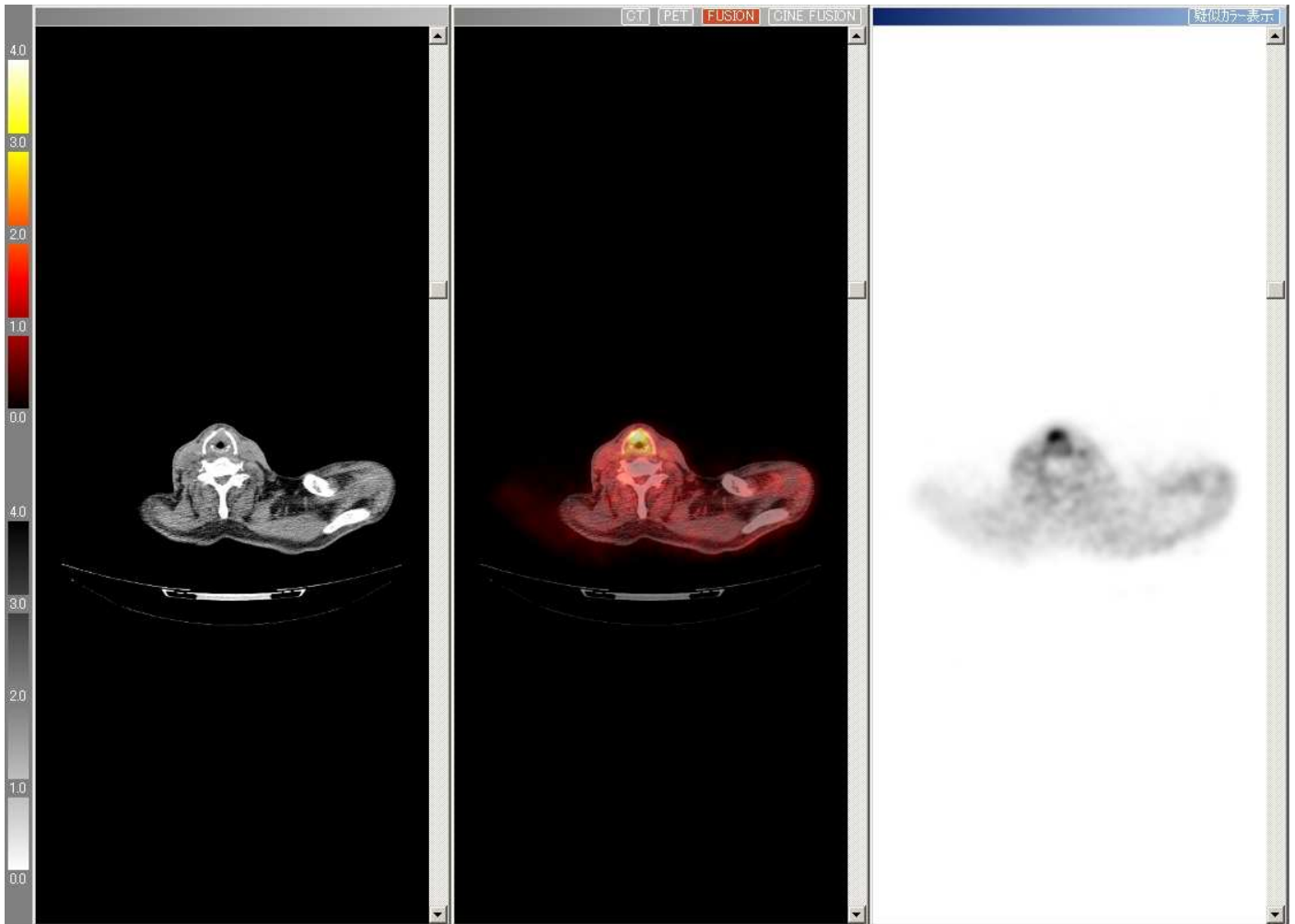




「症例紹介」

当コラムでは中之島クリニックで経験した様々な症例をご報告いたします。

「60歳代 男性、当院 PET-CT 検診にて発見された喉頭癌の1例」



声帯への高集積と若干の集積左右差が認められ、喉頭病変の除外との PET-CT 診断がなされた。近医耳鼻科にて、喉頭癌（glottic type, T1N0M0）の診断が得られ、放射線治療にて現在治癒にいたっている。

頭頸部領域にはさまざまな生理的集積や炎症性集積が認められる為、存在診断さえ悩むことも多い（本症例も実は念のため、精査を受けてくださいとのコメントであった）。許容範囲でない非対称性集積の有無をチェックし、またその場合、必ず CT 所見との対比と融合画像の評価を行い、臨床症状の有無を確認することも重要である。





「中之島プチ通信」

～春うらら～

クリニックが開院して初めての春が訪れました。
今年の桜は昨年より一週間ほど早く開花を迎え、近くの公園でも満開の桜が咲いていて、仕事終りに夜桜を見に行きました。川沿いの屋台でおでんを買ったところ、大根がまだ出来ていなく「大根のっていないおでんなんて！！」とがっかりしましたが、ぼんぼんと咲く花々を見ると、四季折々の日本に今いることは本当に良いものだと感じ、心が洗われる思いでした。

まどか



「コラム」

球春到来！ということで、いよいよプロ野球にＪリーグの開幕となりました。

下馬評通りにいかないのがスポーツであります、圧倒的な大戦力を補強した巨人が開幕から５連敗、同じように日本代表クラスを補強した浦和レッズも開幕から勝ち星がなく２試合目にして監督の交代。しかし、新井の加入以外あまりめだたなかった阪神と、４番とチームの勝ち頭３人を失い、文字通りのスモールベースボールに転身したヤクルトが開幕から連勝と勢いに乗り、鹿島アントラーズが昨年終盤の勢いそのまま開幕から４連勝、ピクシー＝ストイコビッチが監督に復帰した名古屋グランパスも２位という好位置につけています。それに伴って各スポーツ解説者が順位予想の言い訳を考え始める時期でもあります。

しかしながら、開幕でダッシュしたチームが必ずしも優勝するわけではなく、昨年であればリーグ終了間際に一時期首位に立つような阪神の連勝、あと４試合中１勝すればリーグ制覇のところを勝ちきれず優勝できなかった浦和の例もあります。今年であれば、プロ野球は北京オリンピック、Ｊリーグはワールドカップ予選と主力が一定期間いなくなる時期があります。はたして３ヶ月、６ヶ月後にはどのような戦力分布となっているのでしょうか。



今年もまた「先が読めない戦い」が続きそうな予感で満開です。なかやま (C) s-hoshino.com



「編集後記」

早いもので中之島クリニックが開院してもう１０か月起とうとしています。当初は初々しかったスタッフも見違えるような働きを見せてくれていて、月日の流れを良い意味で感じる日々です。そして、クリニックを訪れて下さる方々も増え、さらなるレベルアップを図らなければいけないとこれまた日々、痛感しております。

第３号は海開きが始まるころ、７月に発行予定です。よろしくお祈いします。

なかやま

